

図書館だより

令和3年9月24日号

図書館こぼれ話

みなさん1学期は図書館アンケートへの協力をありがとうございました。回答の中でリクエストのあった本については可能な範囲で新着本として図書館に入っています。ぜひ借りに来てください。



9月になった途端、一気に気温が下がって肌寒い日が続いたり、その後また夏に逆戻りしたような暑さになったりと気温が落ち着きませんね。桔梗祭の後ということもあり、疲れが抜けていない人も多いと思います。バランスのよい食事や十分な睡眠を心がけ、体を労わって過ごしましょう。さて、今月7日に発表された【第8回 料理レシピ本大賞 in Japan】では滝沢カレンさんの『カレンの台所』が料理部門の大賞を受賞しました。館内で展示中ですが、読み物としても楽しめる新感覚のレシピ本なので手に取ってみてください。

●東野圭吾さん原作の映画『マスカレード・ナイト』の公開スタート

東野圭吾さんといえば、『探偵ガリレオ』からのガリレオシリーズが人気ですが、刑事新田とホテルマン山岸のコンビが一流ホテルを舞台に犯人に迫る『マスカレード・ホテル』シリーズもおすすめです。ミステリーとしてだけでなく、働く人の視点でホテルの内部を見ることができるのがこのシリーズのおもしろいところです。今月16日に第3弾『マスカレード・ナイト』の映画版が公開されました。小説と映像両方で楽しんでください。

913.6-7 『マスカレード・ナイト』

東野 圭吾 || 著 集英社

ホテル・コルテシア東京で年越しに行われる仮装パーティー『マスカレード・ナイト』に未解決事件の犯人が姿を現すという密告状が警察に届いた。犯人の正体を暴き、更なる犯行を防ぐため、刑事・新田は再びホテルマンに扮し、潜入捜査を開始する。利用客の様々な人間模様を楽しみながら、誰が犯人かを推理してみてください。

●気になる新着本

407-マ 『理系研究者の「実験メン」』

松尾 佑一 || 著 光文社
「理系の本を読もう」というとハードルが高いかもしれませんが、そこに誰にとっても馴染み深い「食」の要素が加わると、興味が湧いてきませんか。ポケットサイズのポップコーンマシンや自転車のタイヤの回転を使ったバター作りなど自由な発想のおもしろい実験が満載です。

913.6-7 『invert[インヴァート] 城塚翡翠倒叙集』

相沢 沙呼 || 著 講談社
綿密な犯罪計画をやり遂げた犯人の前に現れる謎の美女翡翠(ひすい)。普段はマイペースな天然キャラにしか見えない彼女が鋭い推理力でトリックを暴いていく。そのギャップに犯人だけでなく読者も驚かされます。前作『medium』と併せて読んでほしいおすすめミステリーです。

●9月の年中行事に繋がる本 ～月を見よう、おはぎを作ろう～

443-ハ 『夜空を歩く本』

林 完次 || 写真・文 インデックス・コミュニケーションズ
今年の「中秋の名月」は9月21日でした。月は神秘的な力を持つと言われていて、特別な日だけでなく、日頃から月を眺めて心を落ち着かせる時間を持てるといいですね。この本の中でも夜空に浮かぶ様々な表情の月に出会うことができます。美しい夜空と、日に日に姿を変える月の不思議な魅力、その両方に心と体を癒されてみませんか。

596.6-ナ 『たのしいあんこの本』

なかしま しほ || 著 主婦と生活社

秋分の日を中日として、前後3日間、合計7日間が秋のお彼岸です。お彼岸のお供えものといえば、おはぎ！あんこが苦手な人もあずきから自分で手作りしてみたら、あんこのおいしさを知ることができるかもしれません。「気軽に家であんこを炊いてほしい」という思いで作られたレシピ本でおはぎ作りにも挑戦してみましよう。

●司書の『今月はこの本を読みました』

何か美味しいものが食べたい。どこか遠くへ行きたい。心が解放されるような楽しいことないかなあ。そう思いながら、ただただ自粛生活を続けています。こういう時にレシピを研究したり、身体づくりをしたりと充実させればよいのですが、難しい時もあります。せめて心だけでも遊ばせられるファンタジーが今の私には必要！そこで香月美夜の『本好きの下克上』司書になるためには手段を選んでいられません(913.6-カ TOボックス)を読み始めました。今、第3部第2巻を読んでいます。完結しているので残り18冊。転生したマインの奮闘やバラエティに富んだ登場人物たちを存分に楽しめそう。推しメンもできますよ。【鈴木】